

冬越しに備える生物

■冬に備える

気温も低くなり、干潟の生物は冬越しの準備に入った。転石の下には様々な冬に備える生物が潜んでいる(Fig.1~3)。今後は、渡り鳥が干潟を賑わしてくれることであろう。なお、先月台風の影響で一部に泥が堆積したが(レポートNo.192参照)、堆積した泥はなくなっていた(Fig.4)。



(Fig.1 転石の下のカワザンショウガイ)



(Fig.2 転石の下のトビムシ)



(Fig.3 転石の下のフナムシ)



(Fig.4 先月泥が堆積した部分)



アメリカセンダングサ

■多くの外来植物

干潟の周辺部には多くの植物が茂っている。その中には外来植物 (Fig.5の3種はいずれも北米原産) が多く見られ、在来種が圧迫される可能性が懸念される。

ハリエンジュ

セイタカアワダチソウ

(Fig.5 干潟周辺の植物)